

建築分析

以下、建築界が公共性があると認めた5つの公共建築を取り上げ分析する。

- ・ えんぱーく
- ・ アオーレ長岡
- ・ 真壁伝承館
- ・ 十和田市現代美術館
- ・ 大宮前体育館

これらの建築を分析し、明らかになった結論は次の通りである。

心象プロジェクト

建築名：えんぱーく

えんぱーくは塩尻の町の縮図である。この場所を訪れた地域住民・企業・行政の人々は、えんぱーくの中に自身の欲求を投影し、建築の新たな使い方を見つけていく。やがてそれは建物の中だけではなく、塩尻の町へと染み出していく。

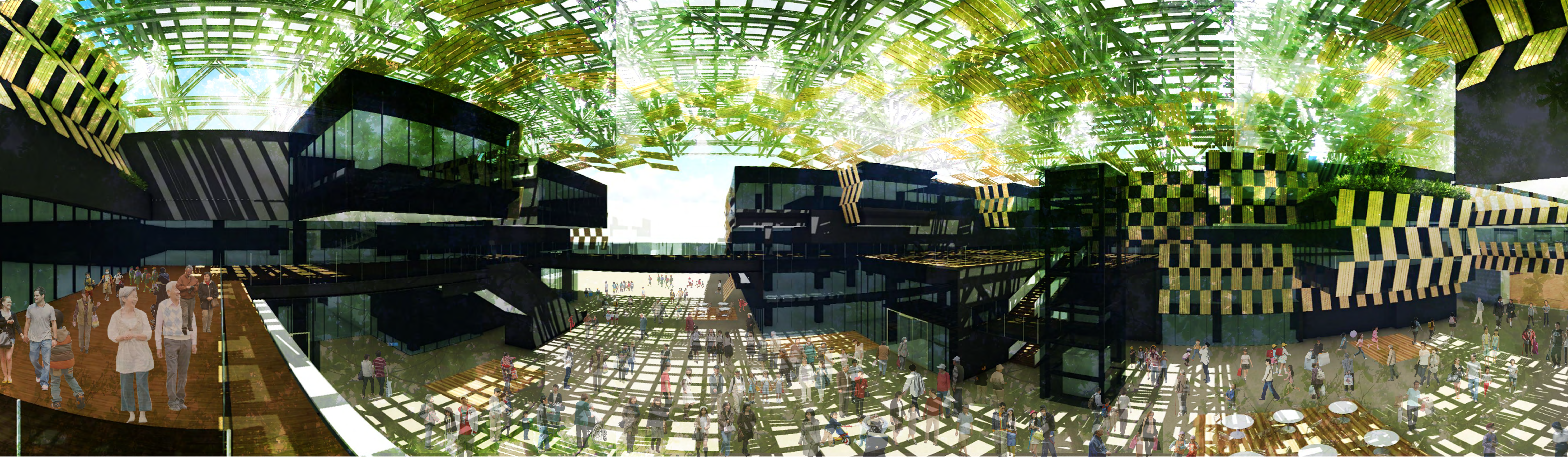


ナカドマ

おいでよ長岡の森

建築名：アオーレ長岡

ナカドマがつくる空間は木漏れ日のような光をつくり出し、立体的に展開される人々の活動はまるで“森”のような風景を想起させる。またそこでの活動は“森”の外へ出てゆく。



カスタムシティ

建築名：真壁伝承館

真壁伝承館の空間体験は、建物の構成要素がまち全体へ拡張する様子を想像させ、新たなまちを構築させる。それは、石畳の道であり、磁石のくっつく壁であり、神輿の担ぎ込まれる広場である。



体験のオーバレイ

建築名：十和田市現代美術館

この建築を訪れたものは、様々な空間体験と美術品の数々に刺激され、街に対する意識の変化が起こる。この体験を経たわたしは、窓の向こう側に思い思いのまちを描くもう一人の自分を見る。



大宮前の不思議のダンジョン

建築名：杉並区 大宮前体育館

このダンジョンに挑戦した人は、自身のレベルアップを実感し、次のステージへ挑戦しようと意気込む。それは、己を高めへ導こうとすると同時に皆で協力し、ダンジョン、街を攻略する。

Real World

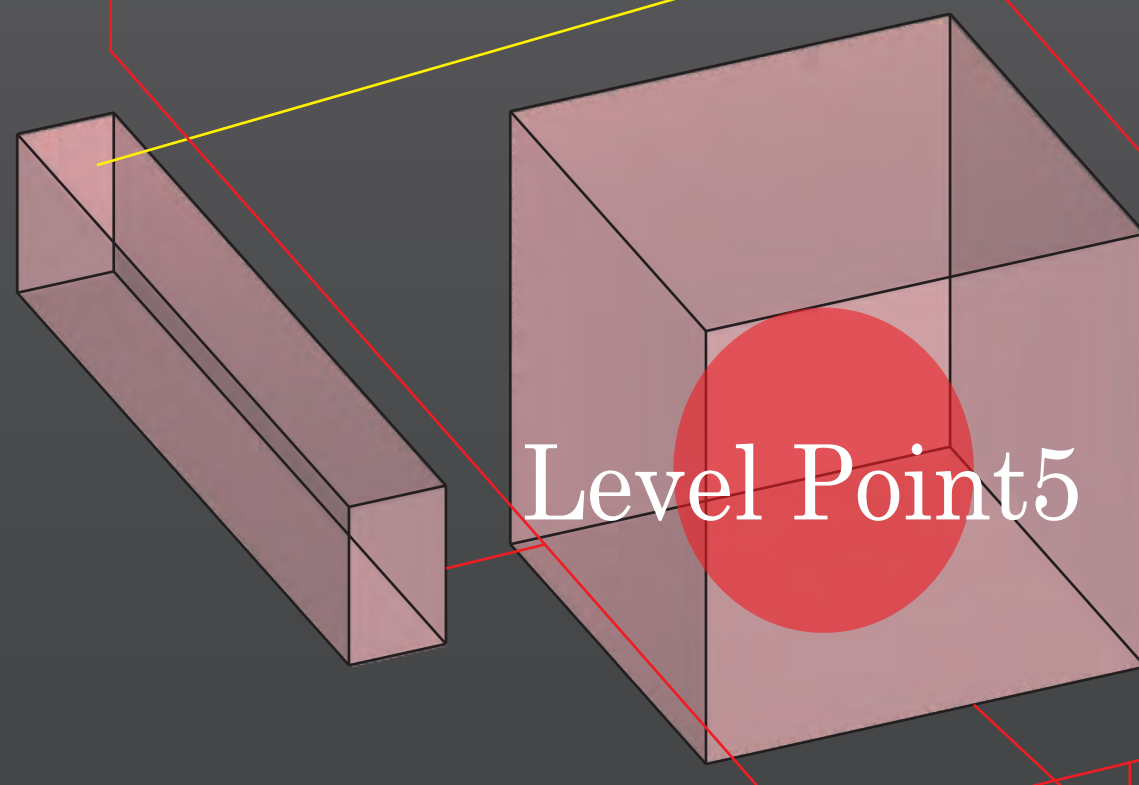
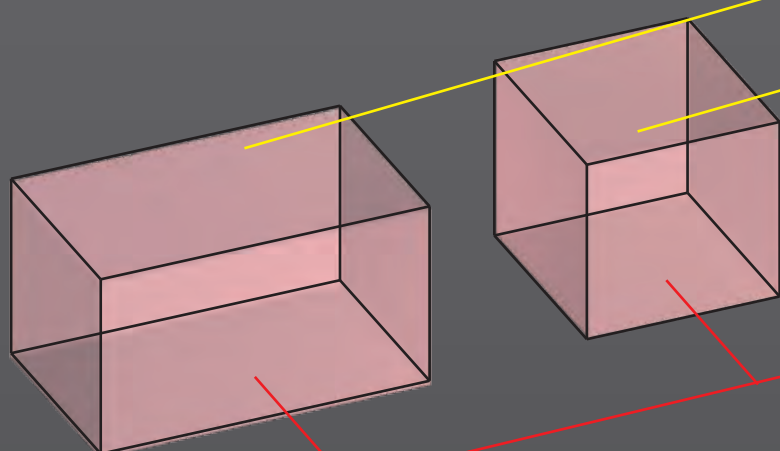
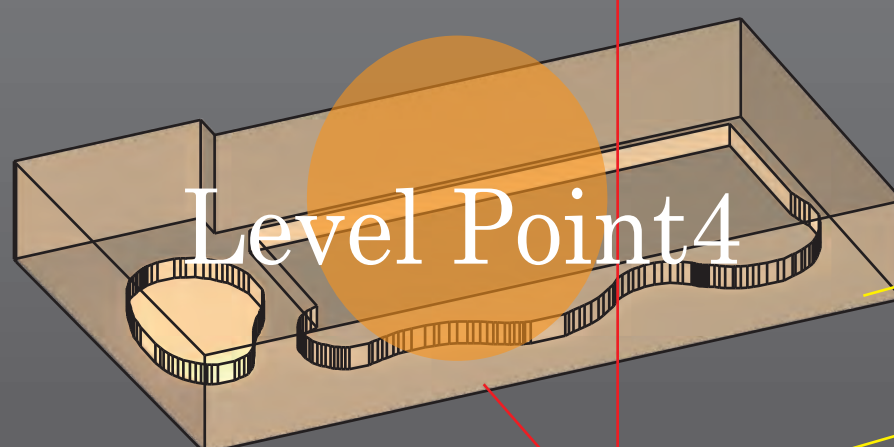
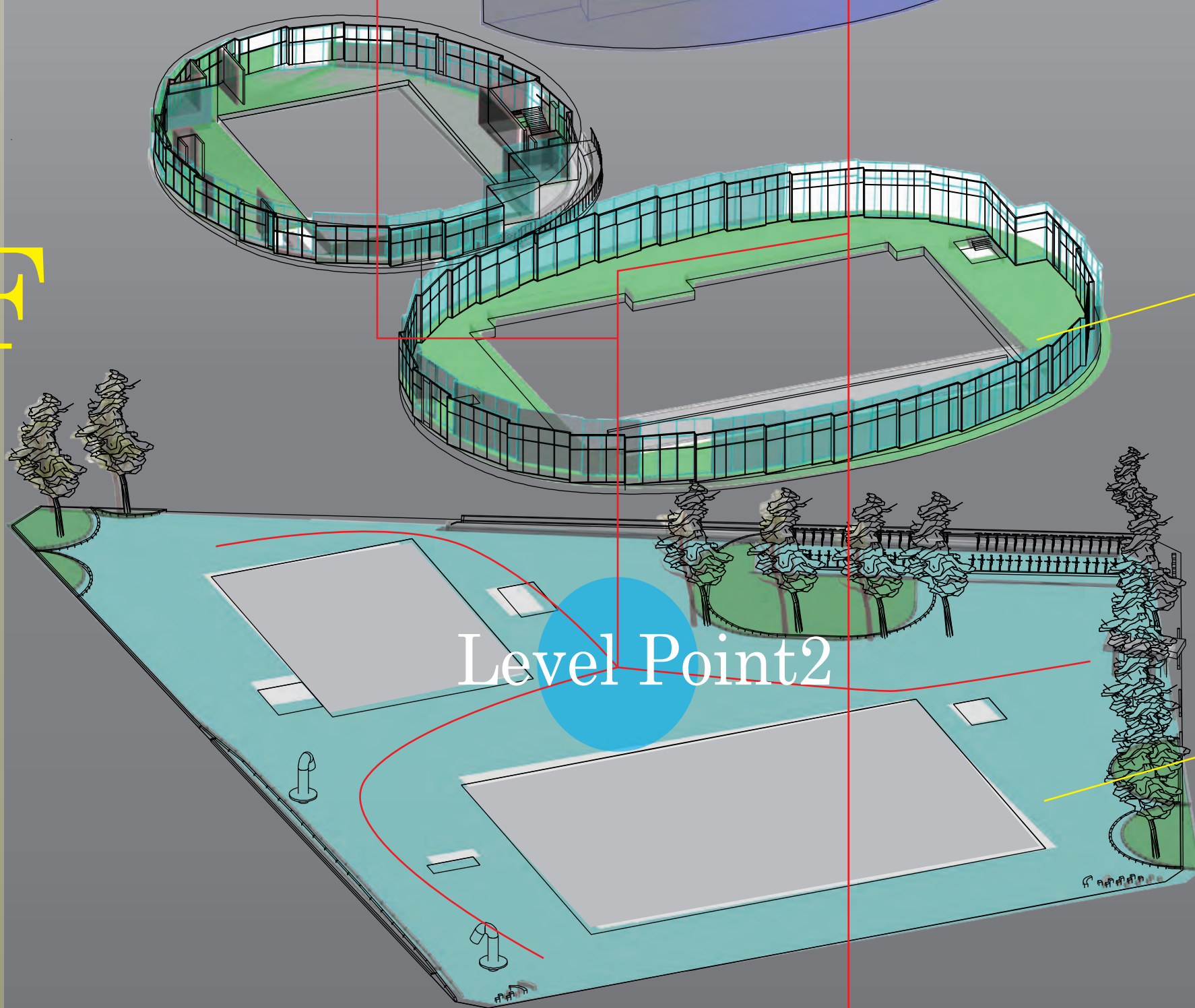
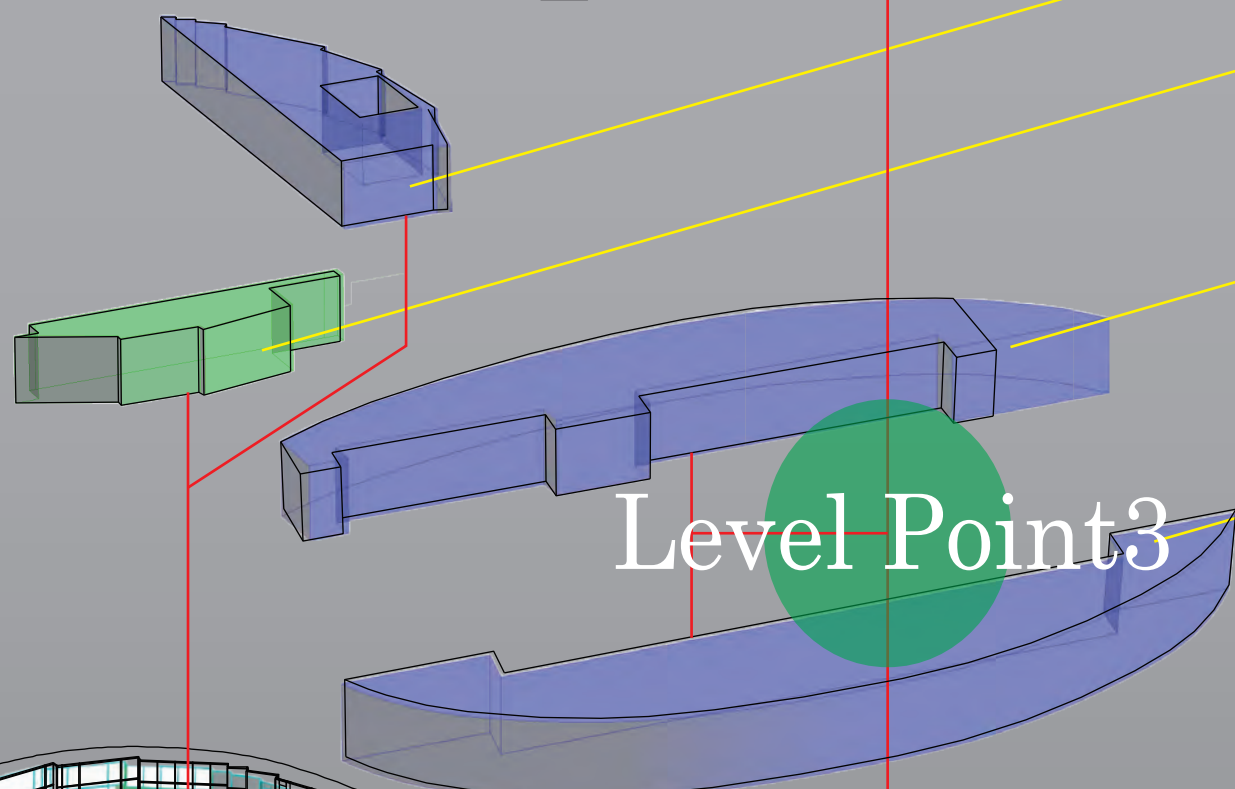
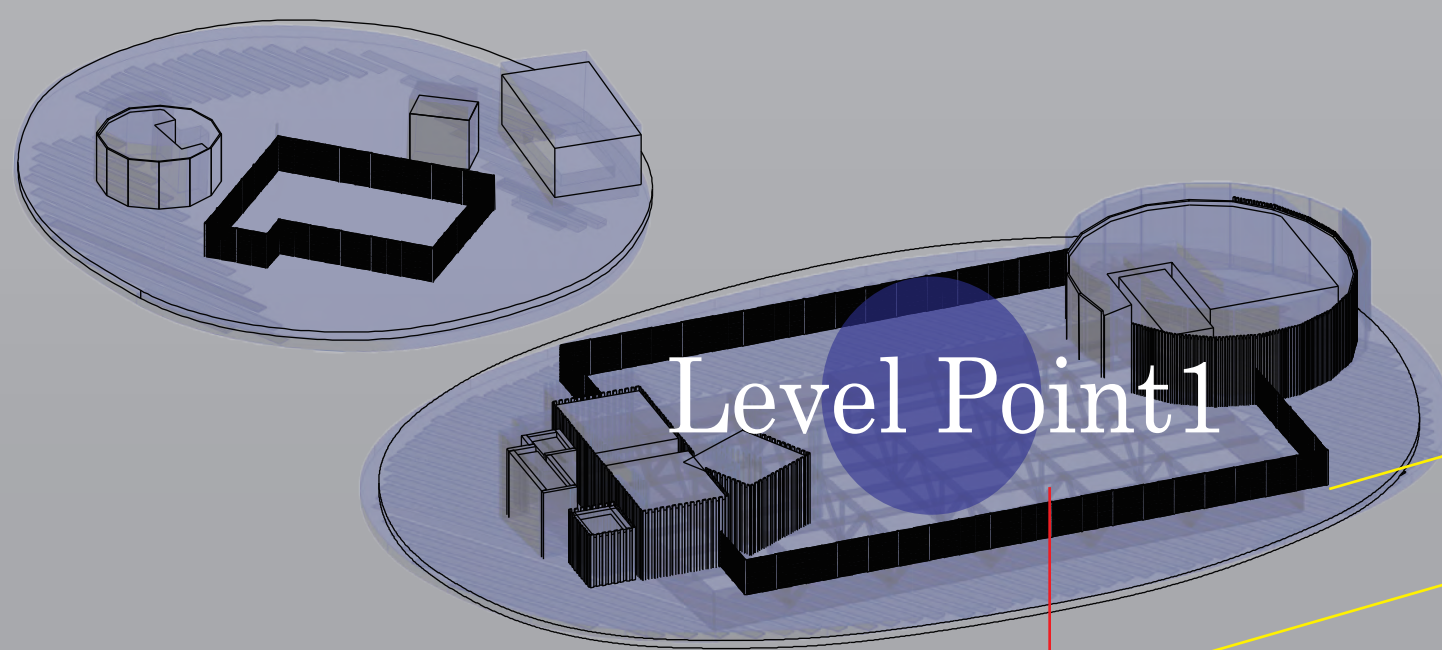
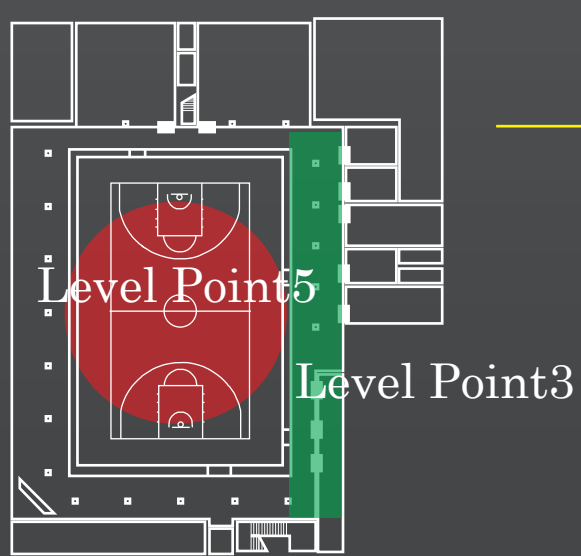
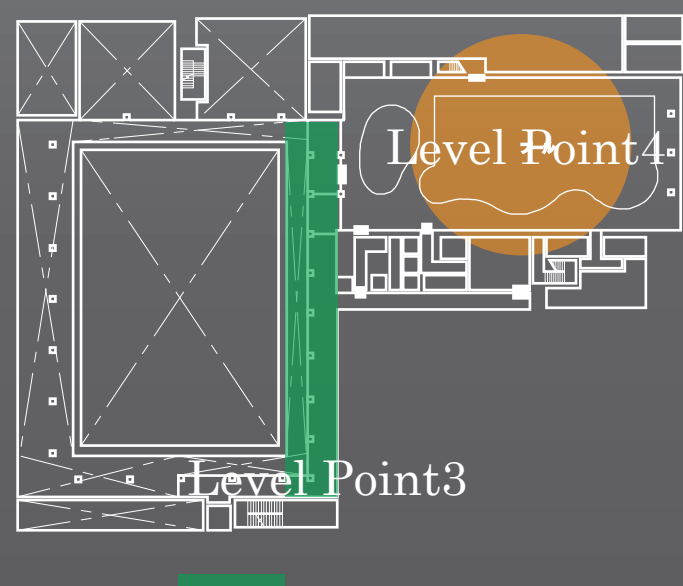
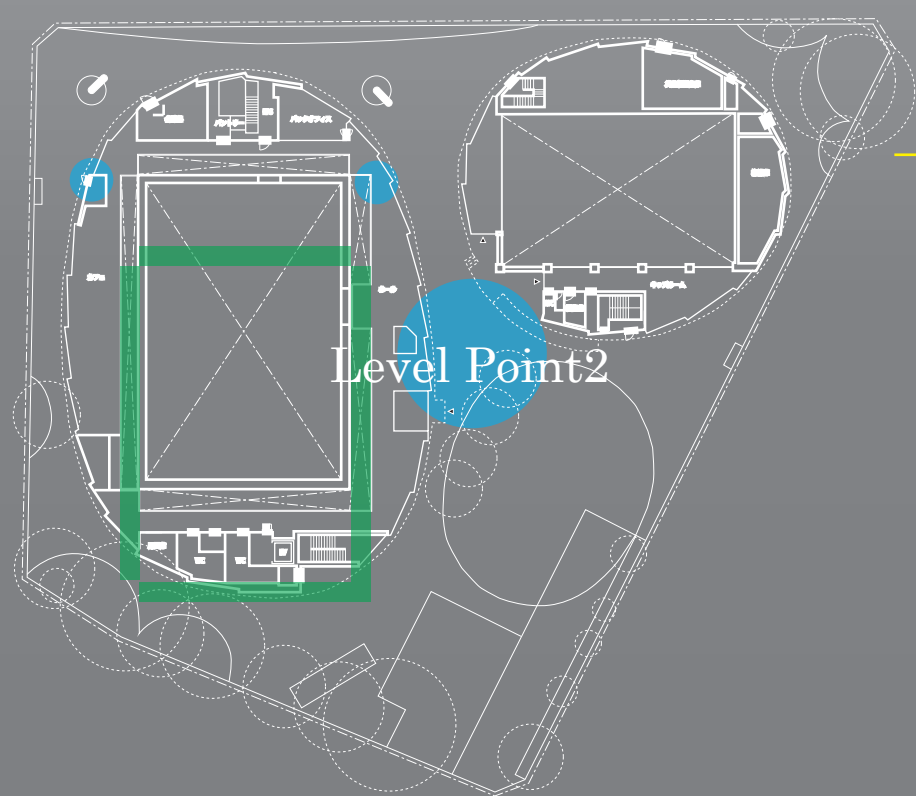
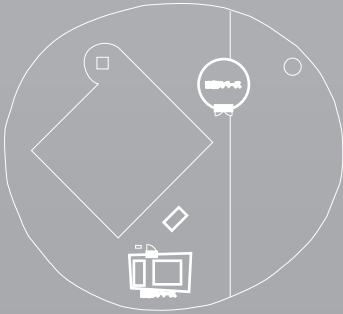
RF

1F

B1

B2

Virtual World



roof garden
child room
multipurpose room

hole

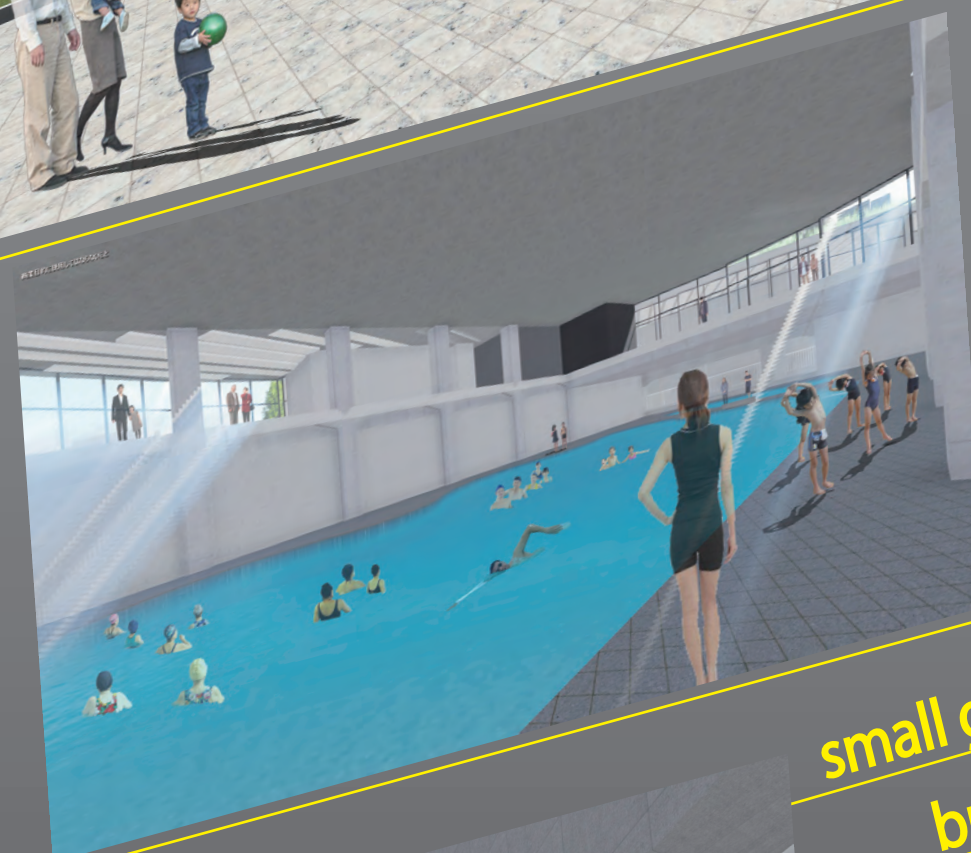
cafe



hole



approach



pool

small gymnasium
budou room



training room



gymnasium

